

芸術の樹よ、森となれ

テーマは甲府工業高校1年望月春馬さん
揮毫は 甲府西高校 2年神野太洋さんの作品

月見草 特別版

山梨県高等学校芸術文化祭が開幕

11月9日に「芸術の樹よ、森となれ」のテーマのもと第44回山梨県高等学校芸術文化祭が開催された。新型コロナウイルスが5類に移行され、パレードとグランドステージの内容がコロナ禍以前に戻された。午前中は甲府の中心部をパレードし、午後は会場をYCC県民文化ホールに移し、グランドステージが行われた。県内各高校の文化部に所属する生徒が日頃の成果を披露する大きな祭典となった。



最後まで笑顔でパフォーマンスを練り広げてくれたチアリーディングのみなさん

山梨県高等学校
文化連盟新聞専門部

- ・甲府西高校新聞部
- ・甲府第一高校新聞部
- ・韭崎工業高校新聞委員会
- ・都留高新聞同好会

パレードにびったりな青空の下、県庁噴水広場に県下のチアリーディング部の生徒達が集まった。

まずは、**甲斐清和高校**のチア部の植木桃華さん、佐藤友樹さん、長田七海さんに取材をさせていただきました。

◇意気込みを教えてください。
(植) 今まで引き継がれてきた伝統なので、転ばないように気をつけたいです。

(佐) みんなで団結して、振り合わせていけたらなと思います。

◇部の中で共通の目標はありますか？(長) 技術どうこうよりも、一番目立とうと頑張ることです。目立つことで知名度が上がって、この高校でチア部をしたいと思ってもらいたいんです。

続いて、**白根高校**の森本芽実さん、塚原彩葉さん、志村滯さん、金丸あられさんです。

◇どんな風に練習を行っていますか？

吹奏楽部も力強いハーモニー

出発式では、実行委員会会長や生徒代表の**富士北稜高校**安田ゆらさんが祭典を祝う挨拶を行った。パレードは最終地点である立正校成会を目指し、各専門部のプラカードを先頭に選抜された数高からなる吹奏楽部のマーチングバンド、チア

リーディング部、バトントウリング部と続いた。華やかなダンスと軽やかな音色を奏でながら甲府市中心部を行進し、街中には高校生を見守る保護者や地域の方が大勢集まった。地域の方からは「初めて見に来たが、高校生らしい生き生きとした

た若い力が集まり表現し合っていて素敵なものだと感じました」、また、吹奏楽部に所属する生徒の保護者からは「他校の吹奏楽部の皆さんと一緒に演奏する機会は貴重なので、このパレードで聞けて良かった」などと、声援と拍手が送られた。最終地点に集まり、最後に全員で演奏・ダンスをし、パレードを締めくくった。こ

Q、パレードを終えた感想を一言お願いします。
「地元の人や道を歩いている人が立ち止まってパレードを見てくれて嬉しかった」



声・アラカルト

☆司会 山梨学院高校2年放送部 星野奈々さん

Q、芸文祭当日を迎えて今の気持ちを教えてください。



学校が集まっているこのイベントで司会をすることができてとてもうれしい反面とても緊張しています。Q、芸文祭に向けてどのような準備をしてきたか教えてください。

各高校のすべての人が楽しめるように、そして安心してパレードに参加できるように放課後練習をしてきました。Q、普段どんな活動をしているか教えてください。

学校の行事で司会をしたり、体育祭で実況をしたりしています。大会に出る場合はアナウンス部門なら自分で話す記事を考えて、考えた記事のもとに練習しています

☆高文連 理事長 秋山すみ江さん
Q、昨年からの新型コロナウイルスの感染状況も変わり、今年は通常に近い開催となったと思うのですが、昨年と違うと感じる点はどこですか？
一保護者や一般の方々にも見ていただける機会がすごい増えたと思います。それによって、演奏や演技をする生徒たちの表情も全然違うなとすごく感じます。
Q、芸文祭で楽しみにしていることはなんですか？
一生徒が精一杯演奏したり、活躍したりする姿や舞台の上で思いっきりはじける笑顔を見られればと思っています。(都)



声出し練習をしています。続いては、**山梨学院**の浅尾風輝さんです。

◇意気込みは？見ている人、全員を笑顔にできるように、踊りたいです。

◇自分の部のアピールポイントは何ですか？
トは？常に仲良く、明るいところですよ。

◇チアをやっている良かったことはありますか？
まず、応援に行けること、そして学年関係なく繋がりをもち、活動を行っています！

最後に、取材を受けてくれたのは**甲府商業高校**です。

◇意気込みは？私たちは、今年初めて出場するので、楽しく踊ることを意識します。3年ぶりの開催なので、他校の皆さんと協力しながら、頑張っています！(都)

のパレードに参加したチアリーディング部の生徒は「みんなで練習の成果を出せて盛り上げることが出来たので本当に良かった」と語った。紅葉が映える甲府市中心部をさらに彩るパレードとなった。

芸文祭の幕開けと共に華々しいスタートを切ったパレードでは、多くの生徒の活躍が見られた。参加した数名に、芸文祭に向けた想いやパレードを終えた感想について話を聞いた。

第一高校 (一)

第44回県高校芸術文化祭

今年のテーマは「芸術の樹よ、森となれ」

4年ぶり盛大に開催

グランドステージ



合唱専門部による合同合唱の様子（グランドステージにて）

文化部の晴れ舞台である芸術文化祭（以下芸術祭）は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、4年ぶりにコロナ前の県内高校生の活気あふれる大会となった。

第44回山梨県高等学校芸術文化祭が11月9日、「芸術の樹よ、森となれ」のテーマのもと、開催された。本年度は25部門にわたる様々な発表、展示が繰り広げられた。午前中にパレード、午後はグランドステージが行われ、午前中に開催されたパレードでは噴水広場から立正校成会まで、甲府の町を6つの高校がそれぞれ活動披露しながら行進した。グランドステージでは、第一部に式典、第二部には、演劇専門部による演劇の発表、新聞専門部によるスクリーンを使っての活動報告、吹奏楽専門部による演奏が行われた。

甲府市の平和通りを美しい音色とともに行進した。午後のグランドステージ第一部は合同オーケストラによる演奏で開幕し、主催者挨拶、来賓祝辞、激励の言葉、生徒代表挨拶、表彰が行われ、開会宣言の後、合唱専門部による合同合唱が行われた。宣言は、参加校の校旗、専門部の紹介が行われ、その後、甲府西高校の生徒会長曾根健志郎さんによる「大きな制約の中で文化・芸術に向き合ってきた皆さんへ敬意を表するとともに、文化・芸術活動に青春を注ぐ皆さんが縦横無尽に活躍されることを願っている」という宣言とともに芸術祭は開会された。



グランドステージ第2部交流ステージで演劇専門部が活動紹介を行った。

演劇 感性豊かな劇を披露

演劇専門部は公立・私立合わせて16校が所属している、今回のステージ発表では身延高校と甲斐清和高校の合同チームを編成し、2つに分かれて発表。劇は教室に転校生が来るというストーリーであるが、それぞれ演出と設定が異なり、それぞれ全く違う内容となっている。身延高校は部員が8人、週に5日から6日、3時間、土日は4時間活動している。普段はストレッ

開専門部によるスクリーンを使っての活動報告、吹奏楽専門部による演奏が行われた。芸術祭後、開会宣言を行った曾根健志郎さんは「今まで制限されていたとは思えないほど素晴らしい作品、パフォーマンスを見ることができ、芸術への感動が溢れて止まらなかった」と話した。今回の芸術祭はコロナ禍を乗り越え、努力を惜しまず続けてきた県内のすべての部の晴れ舞台にふさわしい、素晴らしい大会となった。



甲府第一高校は芸術祭で発表した曲「春の猟犬」とA d oの「新時代」を披露した（写真）。

吹奏楽

迫力のある演奏で魅了

グランドステージ第2部交流ステージで吹奏楽専門部が活動紹介を行った。専門部を代表して、10月30日に行われた発表会で芸術文化祭賞に選ばれた葦崎高校吹奏楽部と優秀賞に選ばれた甲府第一高校吹奏楽部が演奏を披露した（写真）。

新聞 発行新聞を通して交流

芸術祭パレード、グランドステージが行われた同日Y C C県民文化ホールにて新聞専門部交流会が行われた。各高校の顧問の先生や代表生徒からは、それぞれの新聞でこだわっている見出しや連載記事について紹介がされた。こだわっているところは様々で新聞を比べてみるとその違いが雰囲気にあらわれていた。交流会後、各校が一年間のうちに作った新聞から選りすぐりのものをホール前ホワイエ

茶道

4年ぶりの呈茶席 多くの人に喜ばれる



富士学苑高校茶道部がY C C県民文化ホールホワイエで呈茶席を設けた（写真）。呈茶席は新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年中止されていた。4年ぶりにグランドステージで行われ、グランドステージに参加した県内の校長先生、高校生に振舞われ、多くの人に喜ばれていた。

と「銀河鉄道999」「宝島」を演奏。「銀河鉄道999」の演奏が始まった途端、客席より大きな拍手が沸き上がり、舞台と客席が一体となり盛り上がった。

甲府第一高校の水上赛季部長は、演奏前のインタビューで「演奏する自分たちとお客さんが楽しめるステージにしたい。練習の成果を発揮したい」と意気込みを語った。

チ、発声など、基礎練習を行っている。大会が近くなると演目の練習を行っている。甲斐清和高校は部員が16人、週3日、3時間練習、大会が近いと4時間練習を行っている。練習内容は基礎練習、ダンス、即興劇などを行っている。演じる上で気をつけていることについて、身延高校の依田麻唯さん（3年）は「お客さんに伝わるような演技を心がける」と、甲斐清和高校の小野瑠花さん（1年）は「自分と役を区別して、演じたい」と抱負を語った。

富士学苑高校は3年生が4人、2年生が8人、1年生が5人、中学生が1人の計18人で活動しており、流派は裏千家、週に2回、火曜日と金曜日。呈茶席に参加した、山梨高校の藏重心音さん、平塚里菜さん（ともに1年）は「緊張したけれど楽しかったし、美味しかった」と感想を語ってくれた。